

## 第5回「みちのく復興事業シンポジウム」を開催 ～ セクターを超えた協働で地域社会の未来をつくる ～

主催：みちのく復興事業パートナーズ、NPO法人ETIC.

「みちのく復興事業パートナーズ※<sup>1</sup>(以下、事業パートナーズ)」と「NPO法人ETIC.※<sup>2</sup>(以下、ETIC.)」は、これまでの東北復興の実践を通じ、地域社会の未来とこれからの企業の役割を考察するシンポジウムを、2017年3月に開催いたします。

3.11から6年を経てなお、東北はまだまだ復興途上です。同時に、震災前から抱えてきた人口減少・高齢化・経済縮小などの社会課題が進行しています。しかし、日本の未来を先取りするような形で、大都市依存ではない地域内でしっかり循環する新しい経済や人々の豊かな暮らし方を模索し、持続可能な地域社会をつくっていこうという機運も高まっています。

そうしたなかで、自治体、NPO、企業がセクターを超えて連携・協働していくことがますます重要になりつつあります。東北でのセクターを超えた協働には、地方創生につながる学びや発見に満ちています。

こうした動きに、企業はどう関わっていくべきなのか、それによって何が生まれるのか、みなさまとともに考えます。

みなさまのご参加をお待ちしております。

日時 2017年3月6日(月) 15:00-17:45 (開場は14:30から)  
会場 電通ホール(東京都港区東新橋1-8-1、電通本社ビル内)  
定員 300名(参加無料)  
対象 企業のCSR・社会貢献担当者、人事担当者、復興や地方創生に関心のある方  
参加申込 下記Webフォームよりお申込みください  
<http://www.etic.or.jp/sympo170306/>  
主催 みちのく復興事業パートナーズ、NPO法人ETIC.



※1 企業が連携して東北で復興に取り組むリーダーらを支援する枠組み。いすゞ自動車、花王、ジェーシービー、電通、東芝、ベネッセホールディングスが参画。(2017年2月現在)

※2 若い世代のリーダーを育成する団体として1993年に設立。長期実践型のインターンを通じて多くの学生を育てるとともに、次代を担う代表的な事業型NPO法人を数多く輩出しています。

問い合わせ：NPO法人ETIC.(エティック) 担当：石塚・海津  
TEL：03-5784-2115 FAX：03-5784-2116 E-mail：local-info@etic.or.jp

## 【プログラム】

\*タイトルは変更になる場合がございます

15:00～15:05 開会

15:05～15:10 みちのく復興事業パートナーズのご紹介(事務局:NPO法人ETIC.)

15:10～15:40 基調講演「地方こそ、新しい日本」

小城 武彦 氏 株式会社日本人材機構 代表取締役社長

15:40～16:40 東北で活躍するプレイヤーたちによるプレゼンテーション  
「セクターを超えた協働の先進地、東北」

石井 重成 氏 釜石市オープンシティ推進室 室長(岩手県釜石市)

小松 洋介 氏 NPO法人アスヘノキボウ 代表理事(宮城県女川町)

松村 豪太 氏 一般社団法人 ISHINOMAKI 2.0 代表理事(宮城県石巻市)

モデレーター:

山内 幸治 氏 NPO法人ETIC. 事業統括ディレクター

16:40～17:40 ディスカッション「今、企業はどのような関わり方ができるか」

谷津 拓郎 氏 株式会社 IIE 代表取締役社長(福島県会津坂下町)

高橋 由佳 氏 認定NPO法人 Switch 理事長(宮城県仙台市、石巻市)

橋本 大悟 氏 一般社団法人 りぷらす 代表理事(宮城県石巻市)

高内 美和 氏 みちのく復興事業パートナーズ

(花王株式会社コーポレートコミュニケーション部門 社会貢献部長)

濱野 克庸 氏 みちのく復興事業パートナーズ

(株式会社ベネッセホールディングス ブランド・CSR部 CSR推進課 担当課長)

モデレーター:

宮城 治男 氏 NPO法人ETIC. 代表理事

17:40～17:45 閉会

## 【基調講演 登壇者】

小城 武彦 氏（株式会社日本人材機構 代表取締役社長）

1961年生まれ。旧通産省からビジネス界に転じ、企業の社長の右腕として活躍した経験を持つ。カルチャ・コンビニエンス・クラブ、産業再生機構(カネボウ)、丸善CHIホールディングスと、一貫して事業の変革と再生に携わる。2015年から株式会社日本人材機構をスタート。「自分の経験をもっと活かせる場所で、世の中に貢献していきたい」と考える大都市の経営人材と地域とをつなぐ事業に尽力している。

## 【プレゼンテーション 登壇者】

石井 重成 氏 釜石市オープンシティ推進室 室長

経営コンサルティング会社勤務を経て、震災を機に岩手県釜石市に移住。地方創生戦略の立案やリーディングプロジェクトのディレクターを務める。クロスセクターによる協働を推進し、地域コーディネーター「釜援隊」の創設、オンデマンドバスの実証導入、高校生向けキャリア教育プログラム「釜石コンパス」や、起業支援プログラム「ローカルベンチャーコミュニティ」の展開などを通じて、人口減少時代の持続可能なまちづくりを推進。国際基督教大学卒、1986年愛知県西尾市生まれ。

松村 豪太 氏 一般社団法人ISHINOMAKI2.0 代表理事

石巻市出身。大学院修了後バーテンダーなどを経て、地元石巻でまちづくり活動を行う。勤務中に津波被害にあい自宅も半壊するが、震災直後からがれき撤去、泥かき、仮設住宅団地のコミュニティー形成などに奔走し、石巻中央部の復興活動の中心的な役割を担う。「ISHINOMAKI2.0」発足後は復興に留まらないまちづくりのアイデアを次々と実行に移し、まちの内外の様々な立場の人々をつなぎながら石巻のバージョンアップを目指す。

小松 洋介 氏 NPO法人 アスヘノキボウ 代表理事

宮城県 仙台市出身。2005年4月に新卒でリクルートに入社。震災を機にボランティアに関わり、地元宮城に戻ることを決意。2011年9月にリクルートを退職後、被災地の自治体、商工会、商工会議所、観光協会などをヒアリングを続け、東北に必要な長期的な支援は「産業の復興」と導きだし、その進捗に奮闘している女川町と出会い女川町復興連絡協議会戦略室へ入室。2013年4月、女川を中心にまちづくり、産業活性に取り組むNPO法人アスヘノキボウを立ち上げた。

## 【ディスカッション 登壇者】

橋本 大吾 氏 一般社団法人りぷらす 代表理事

理学療法士。茨城県鹿嶋市出身。東日本大震災後、リハビリ専門職の支援団体を設立し、石巻市の支援活動開始。2011年石巻市へ移住。2013年1月「一般社団法人りぷらす」設立。「子供から高齢者まで病気や障がいの有無にかかわらず地域で健康的に生活し続ける事が出来る社会を創造する」を理念に活動。2014年1月リバイブジャパンカップ復興ビジネスベンチャー部門審査員応援賞受賞世代を問わず年間約3,500名と交流。

高橋 由佳 氏 認定NPO法人Switch 理事長

二輪メーカーにてモータースポーツ企画運営、自身もレーシングカートのワークスドライバーとしてレースに参戦。その後、教育分野・福祉分野の専門職を経て、2011年に、障がい者の就労支援団体としてNPO法人Switchを設立。2013年困難を抱えた思春期・青年期の就労支援ユースサポートカレッジ石巻NOTEを開設。そして、石巻で再び新たな雇用の創出を目指し、2016年8月一般社団法人イシノマキ・ファームを設立、ソーシャルファームを目指した活動を行っている。

谷津 拓郎 氏 株式会社IIE 代表取締役社長

1986年福島県会津坂下町生まれ。2011年3月早稲田大学大学院卒業。2011年末に現代の暮らしに馴染む会津木綿商品の企画・生産を通して、仮設住宅居住者の手仕事作りを行う活動としてIIEを創業。2013年3月株式会社化し、現代は支援としてではなく事業として会津木綿の企画・製造・販売を行なっている。2015年より、地域で一度途絶えた伝統産業の会津青木木綿の復活に向けた取り組みを行なっている。